GCD療法（シスプラチン＋ゲムシタビン＋イミフィンジ）治療を受ける患者さん　　主治医（　　）受け持ち看護師（　　）説明看護師（　　）

| 日付 | ／　（　） | ／　（　） | ／　（　）～／　（　） | ／　（　）～ |
|---|---|---|---|---|
| 経過 | 治療当日まで | 治療１日目 | 治療２～７日目 | 治療８日目～退院まで |
| 達成目標 | ・入院生活や治療を理解することができる。 | ・化学療法について気になることがあれば医療者に伝えることができる。<br>・副作用症状が理解でき症状があるときには医療者に伝えることができる。 | | ・化学療法について気になることがあれば医療者に伝えることができる。<br>・副作用症状が理解でき症状があるときには医療者に伝えることができる。<br>・感染予防対策を理解し、実行することができる。 |
| 治療・処置・薬剤 | ・現在飲まれているお薬があれば確認します。 | ・吐き気や体のきつさを和らげる点滴を行います。<br>・抗がん剤の点滴を行います。<br>シスプラチン、ゲムシタビン、イミフィンジ<br>・抗がん剤終了後は水分の点滴を行います。<br>・点滴終了後は点滴の針を抜きます。<br> | ・治療２～３日目は、朝食後に吐き気止めの内服があります。<br>・吐き気や吃逆（しゃっくり）などがある場合はお薬を準備しているので看護師にお伝えください。 | ・予定では、治療8 日目　／　（　）に抗がん剤の点滴を行います。<br>シスプラチン、ゲムシタビン<br>・点滴終了後は点滴の針を抜きます。<br>（検査結果や患者様の体調などにより変更（延期）の可能性があります。）<br>・採血の結果により白血球数の減少がある際は、医師の指示により、白血球数を増やす皮下注射をすることがあります。（白血球数が増加するまで注射を続けます。） |
| 検査 | ・必要に応じて採血やその他の検査を行います。 | | | |
| 食事 | ・吐き気や食欲低下などで食事が食べにくい場合は、食事の変更が可能です。看護師にお伝えください。 | | | |
| 清潔 | ・シャワー浴ができます。身体がきつい時は清拭用タオルも準備しておりますのでお伝えください。 | | | |
| 排泄 | ・制限はありません。 | | | |
| 説明・指導 | ・パンフレットを用いて副作用の説明を行います。 | ・点滴中に 針を刺している部分の痛み、赤み、腫れ などがありましたら看護師にお伝えください。<br>☆抗癌剤による嘔気・嘔吐・食欲不振・倦怠感・脱毛・骨髄抑制（白血球や血小板が少なくなり感染症や出血しやすくなる）・腎機能障害（急に尿量が少なくなる）・肺機能障害（咳が出やすい、息苦しく感じる）等の副作用が起こる事があります。<br>・症状には個人差がありますので、気になる症状はいつでもお伝えください。<br>・白血球数が減少している時は、手洗い、うがいなどを こまめに行い、感染予防に努めましょう。<br><br>体重増加 やむくみ がある場合は、医師の指示により、利尿剤を投与することがあります。<br><br>・２コース目以降は外来での治療が可能です。外来治療に移行する場合は退院前に外来化学療法センターオリエンテーションを行います。<br>・治療のスケジュールについては主治医と相談をしていきしょう。<br>・退院後の生活の注意点や緊急時の対応について説明します。・退院後のお薬が必要な場合は退院の 2 日前までにはお知らせください。<br> | | |

・以上はあくまでも標準的なものであり、変更があれば随時お知らせします。

九州がんセンター　消化器・肝胆膵内科　2024.2作成